



2011年9月期決算説明会

2011年11月10日



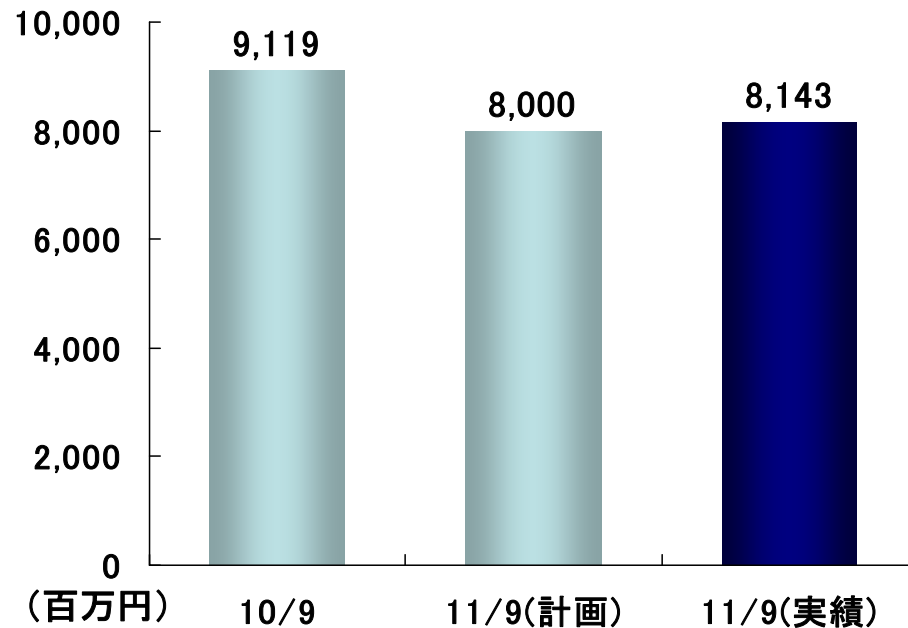
高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

2011年9月期の決算概要

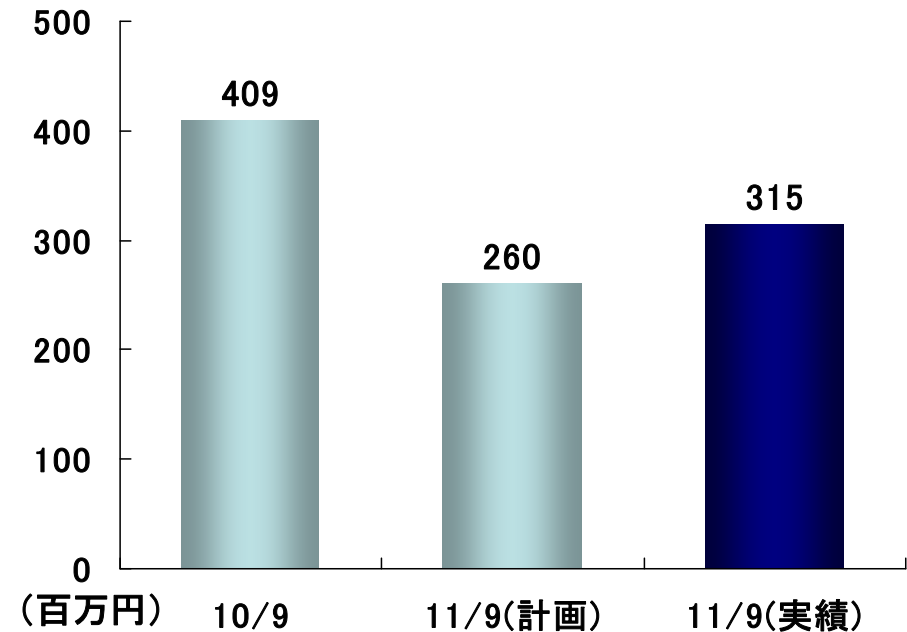
★ 2011年9月期 連結業績ハイライト

前期比減収減益も、計画水準はクリア

売上高



経常利益



★ 2011年9月期 連結業績の詳細

粗利益率が大幅に改善し、利益を押し上げ

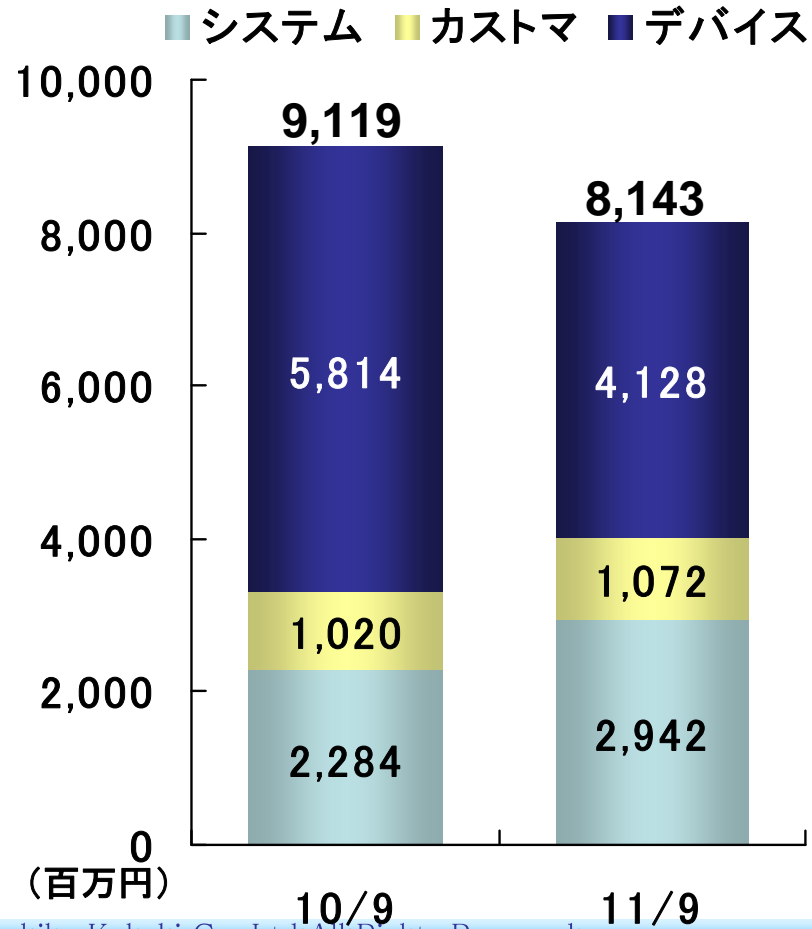
(百万円)

	10/9	11/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	9,119	8,000	8,143	143	△976	△10.7
粗利益	2,271	2,220	2,224	24	△47	△2.1
粗利益率(%)	24.9	27.8	27.3	△0.4	2.4	—
販売費及び一般管理費	1,913	1,970	1,909	△60	△4	△0.2
販管费率(%)	21.0	24.6	23.4	△1.2	2.5	—
営業利益	357	250	315	65	△42	△11.8
営業利益率(%)	3.9	3.1	3.9	0.8	△0.1	—
経常利益	409	260	315	55	△93	△22.9
経常利益率(%)	4.5	3.3	3.9	0.6	△0.6	—
当期純利益	223	140	63	△76	△159	△71.6
当期純利益率(%)	2.4	1.8	0.8	△1.0	△1.7	—
人 員	334	—	464	—	130	—

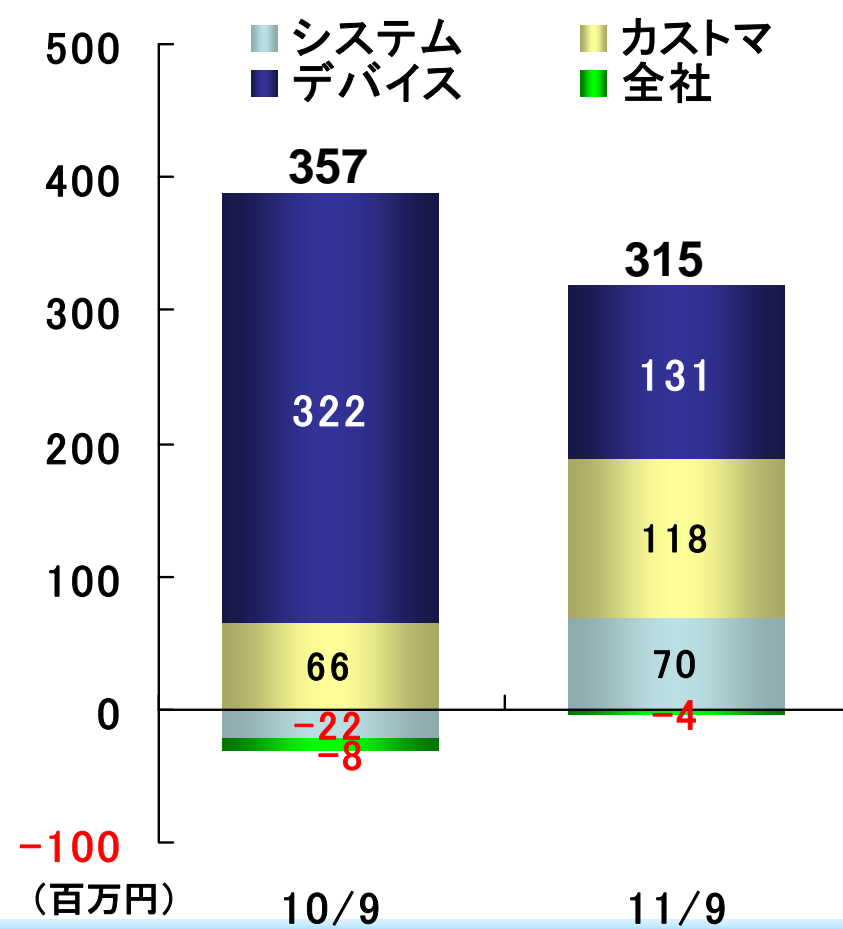
★ セグメント別業績のハイライト

システムセグメントが前年実績を上回り好調に推移

売上高



営業利益



★ セグメント別業績のハイライト(資料)

(百万円)

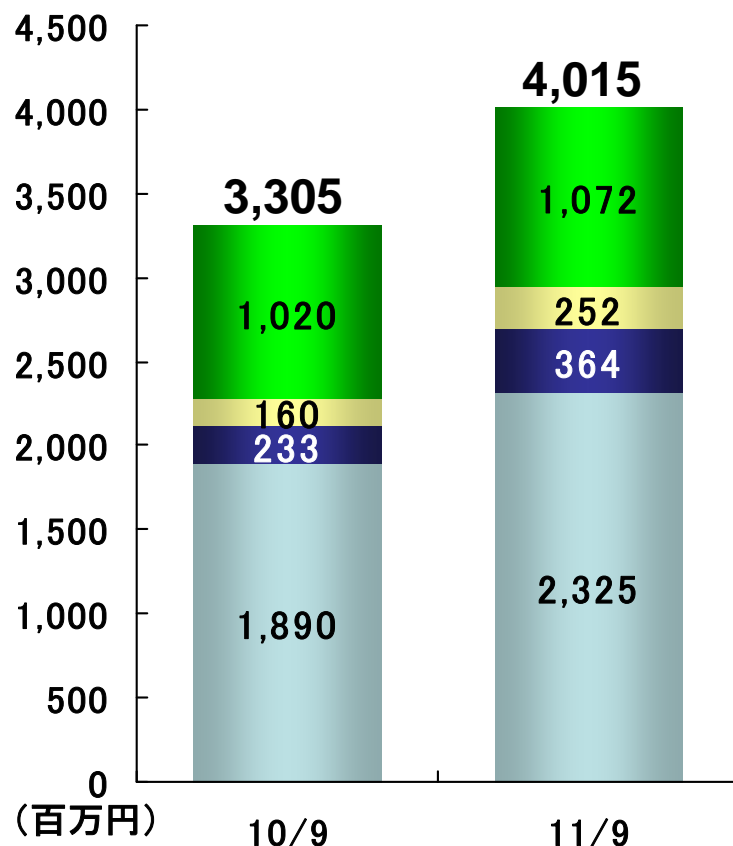
	10/9	11/9	前期差	前期比(%)	前期比 寄与度(%)
売上高	9,119	8,143	△976	△10.7	△10.7
システム	2,284	2,942	657	28.8	7.2
構成比(%)	25.0	36.1	—	—	—
カスタマ・サービス	1,020	1,072	52	5.1	0.6
構成比(%)	11.2	13.2	—	—	—
デバイス	5,814	4,128	△1,686	△29.0	△18.5
構成比(%)	63.8	50.7	—	—	—
営業利益	357	315	△42	△11.8	△11.8
システム	△22	70	92	—	25.8
カスタマ・サービス	66	118	52	79.3	14.6
デバイス	322	131	△191	△59.3	△53.5
全社共通	△8	△4	4	—	—

★ システム+カスタマ・サービスセグメントの業績

すべての商品類において、前年実績を上回る

売上高

■ セキュリティ ■ メーリング ■ その他 ■ カストマ



定性情報

- ◆ セキュリティ商品類は、主にGMS向けが好調に推移し増収
- ◆ メーリング商品類は、大型案件の獲得などで増収
- ◆ その他商品類では、図書館向けICタグや、BCP対策としてネットワーク商品の販売が好調
- ◆ カストマは、システムの納入設置案件が増加し、増収

営業利益

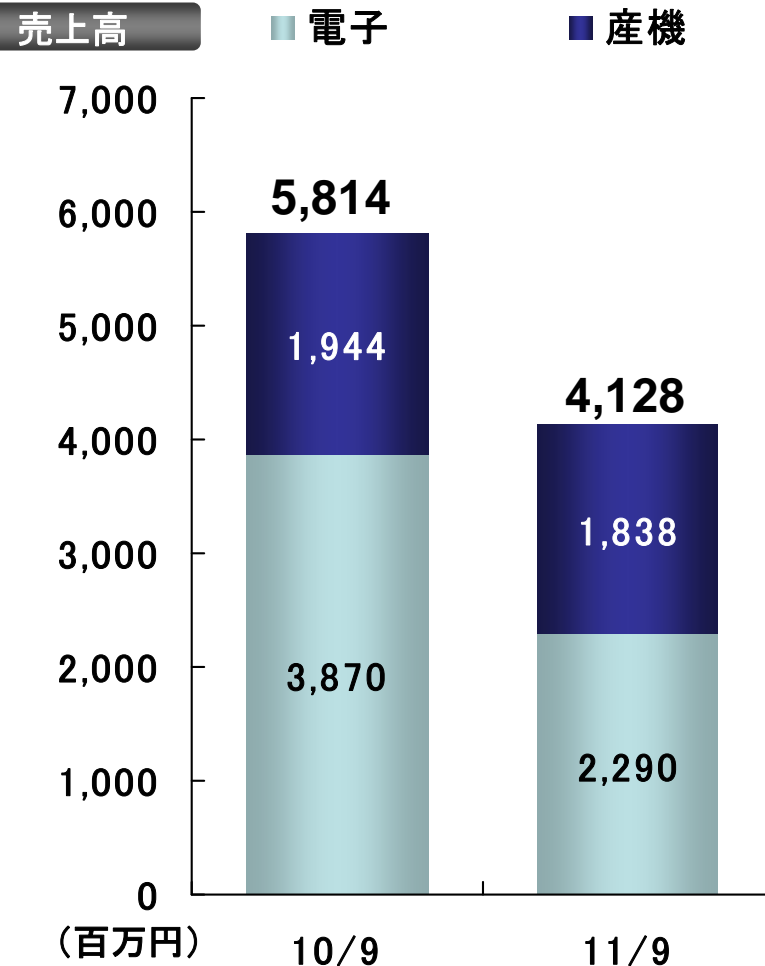
(百万円)

	10/9	11/9	前期比
システム	△22	70	—
カスタマ	66	118	79.3%
合計	43	188	329.3%

(注) 前年度その他商品類に区分していた「オフィスセキュリティ」を、今年度よりセキュリティ商品類に区分することとしたため、前年実績も組み替えて表示しております。

★ デバイスセグメントの業績

電子商品類が大幅減収



定性情報

- ◆ 主要仕入先との代理店契約解消の影響などにより電子商品類が大幅減収
- ◆ 震災に伴う顧客メーカーの生産延期の影響が、電子・産機ともにおよび

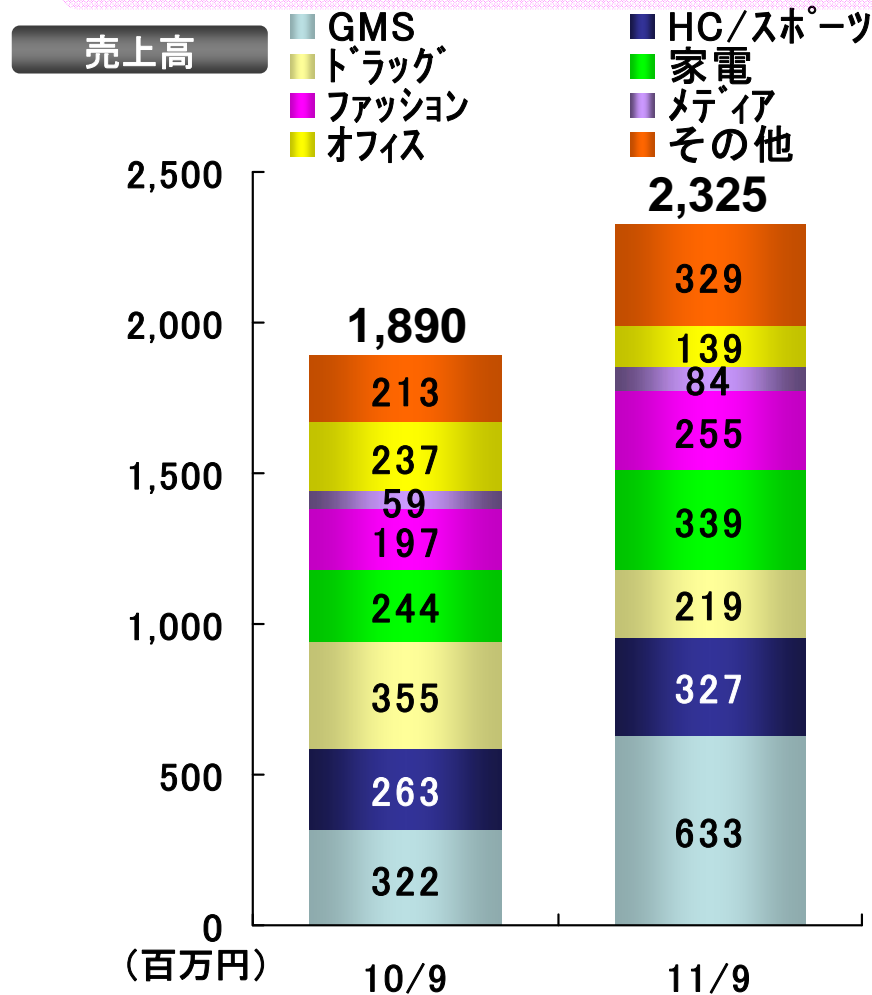
営業利益

(百万円)

	10/9	11/9	前期比
デバイス	322	131	△59.3%

★ セキュリティプロダクトの業績

主にGMS市場の好調を受け増収



定性情報

- ◆ GMS市場が大型案件獲得により好調
- ◆ 未開拓市場である食品スーパー市場での開拓が進み、今後の横展開に期待
- ◆ 家電市場で、新商品等の導入が進む
- ◆ ドラッグ市場では、競合リプレイスが進まず



<商品監視システム>

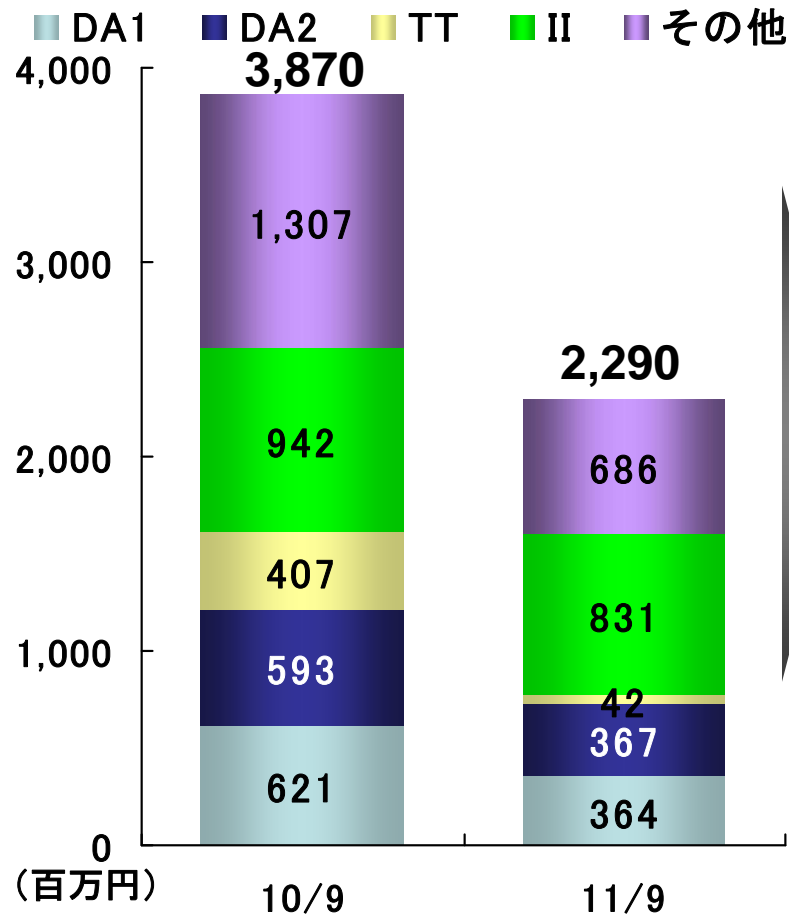


<IPカメラ>

★ 電子プロダクトの業績

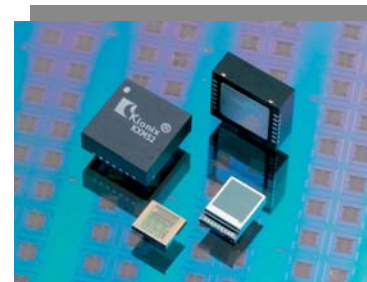
NSとの代理店契約解消の影響により大幅減収

売上高

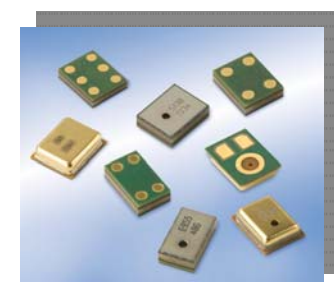


定性情報

- ◆ 代理店契約解消により産業機器向け以外は、大幅減収
- ◆ 新サプライヤーと代理店契約を締結し販売を開始するも、販売の立上りが遅延
- ◆ アミューズメント向けにおいて、開発・設計型ビジネスを展開、新規デザイン案件が増加



<加速度センサー>



<シリコンマイク>

★ 電子プロダクトのSBU区分(メモ)

市場区分

DA1: デジタルアプライアンス: モバイル系(携帯電話、デジタル・カメラ等)

DA2: デジタルアプライアンス(液晶テレビ、パソコン、プリンター等)

II : インダストリーインフラ(測定器、医療機器、放送設備、通信基地局等)

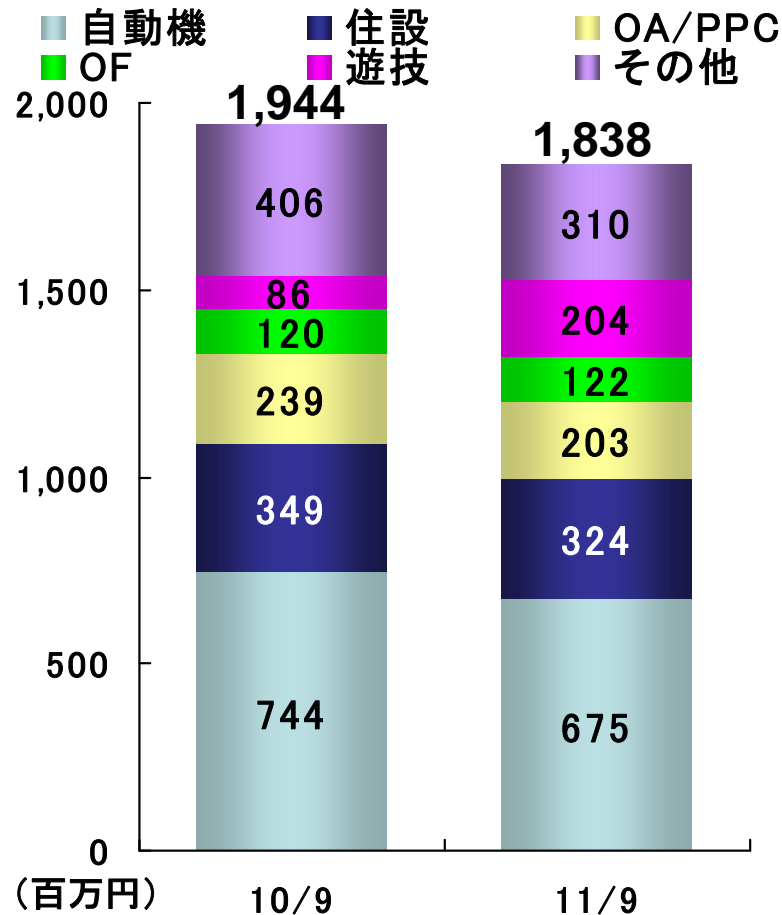
TT : カーDVDナビゲーター等

その他 : アミューズメント設備、パワー(電源関係)、代理店販売等

★ 産機プロダクトの業績

震災の影響等で全体では前年実績を下回る中、遊技向けが好調

売上高



定性情報

- ◆ 震災の影響もあり、主力のATM向けの販売が前年を下回る
- ◆ 前年度立上がった遊技向けが、大幅に増加
- ◆ 近年好調に推移していた住設市場においては、節電の影響により、IH向け部品の販売が進まず減収



<スライドレール>



<引き込み装置>

★ 産機プロダクトのSBU区分(メモ)

市場区分

自動機:ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設:住宅設備、システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC:複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF(オフィス家具):キャビネット、机、椅子等

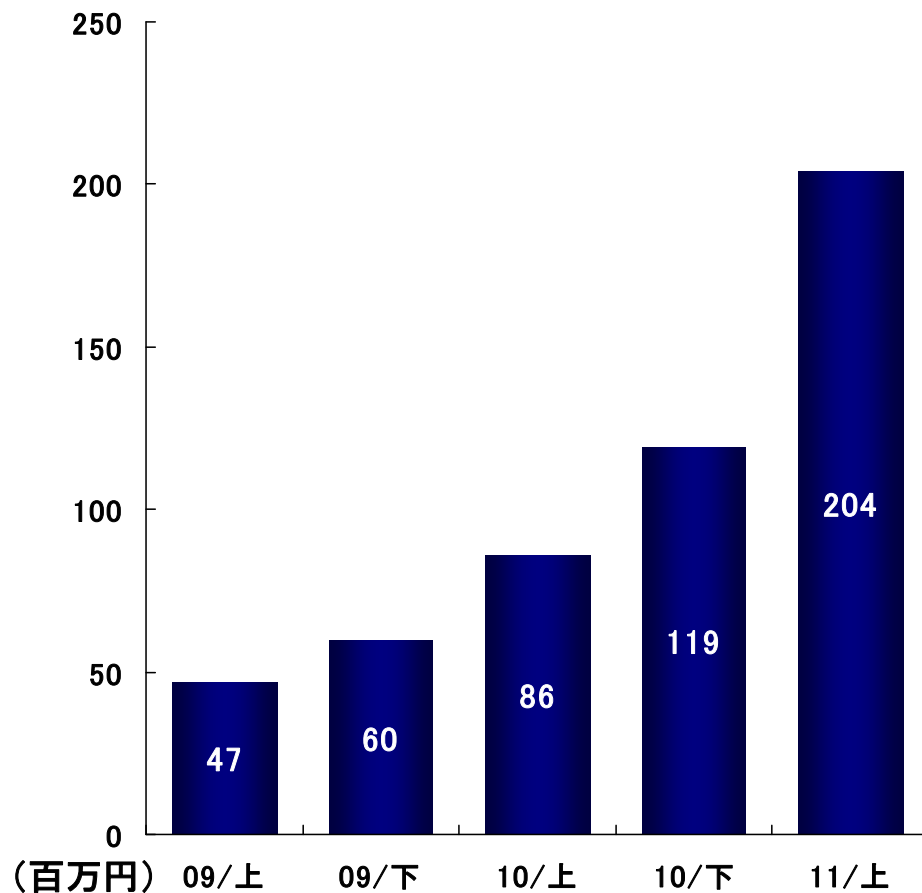
遊技:パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他:上記以外で半導体製造装置、サーバーラック、鉄道ドア、ホームドア等

★ 遊技市場向けの業績推移

遊技向けが立ち上がり、横展開が広がる

半期ごとの遊技市場売上高推移



定性情報

- ◆ 業界最小・最軽量クラスの「TK マイクロレール」を開発・投入
- ◆ 細かな動きにも対応できるため、これまで導入されていなかった遊技機器向けに採用
- ◆ 横展開も進み、レール搭載が業界スタンダードに！！



<マイクロレール>

★ 貸借対照表の状況

運転資本の減少により現金預金が増加

(百万円)

	11/3	11/9	構成比(%)	増減
流動資産	14,949	15,169	85.6	220
現金預金	6,742	7,375	41.6	632
受取手形及び売掛金	5,282	4,655	26.3	△626
商品及び製品	2,094	1,902	10.7	△192
固定資産	2,371	2,556	14.4	185
有形固定資産	511	509	2.9	△1
無形固定資産	133	222	1.2	89
投資その他資産	1,726	1,824	10.3	97
資産合計	17,321	17,726	100.0	405
流動負債	2,855	3,314	18.7	459
支払手形及び買掛金	1,830	2,273	12.8	442
固定負債	894	902	5.1	7
純資産	13,571	13,509	76.2	△61
負債純資産合計	17,321	17,726	100.0	405

★ 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

タイ法人買収等により、投資活動によるCFがマイナス

(百万円)

	10/9	11/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	404	1,416	1,012
投資活動によるキャッシュフロー	△68	△647	△579
財務活動によるキャッシュフロー	△122	△120	2
現金及び現金同等物の増減額	206	632	425
現金及び現金同等物の期首残高	5,593	6,242	649
現金及び現金同等物の期末残高	5,800	6,875	1,074

★ 株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2007年3月期	28円00銭	14円00銭	31.7%
2008年3月期	28円00銭	14円00銭	116.8%
2009年3月期	28円00銭	14円00銭	160.5%
2010年3月期	24円00銭	12円00銭	163.0%
2011年3月期	24円00銭	12円00銭	57.9%
2012年3月期	24円00銭	12円00銭	(見込み)62.2%

通期の見通し

★ 2012年3月期 通期業績計画

通期業績見通しは、当初計画を維持

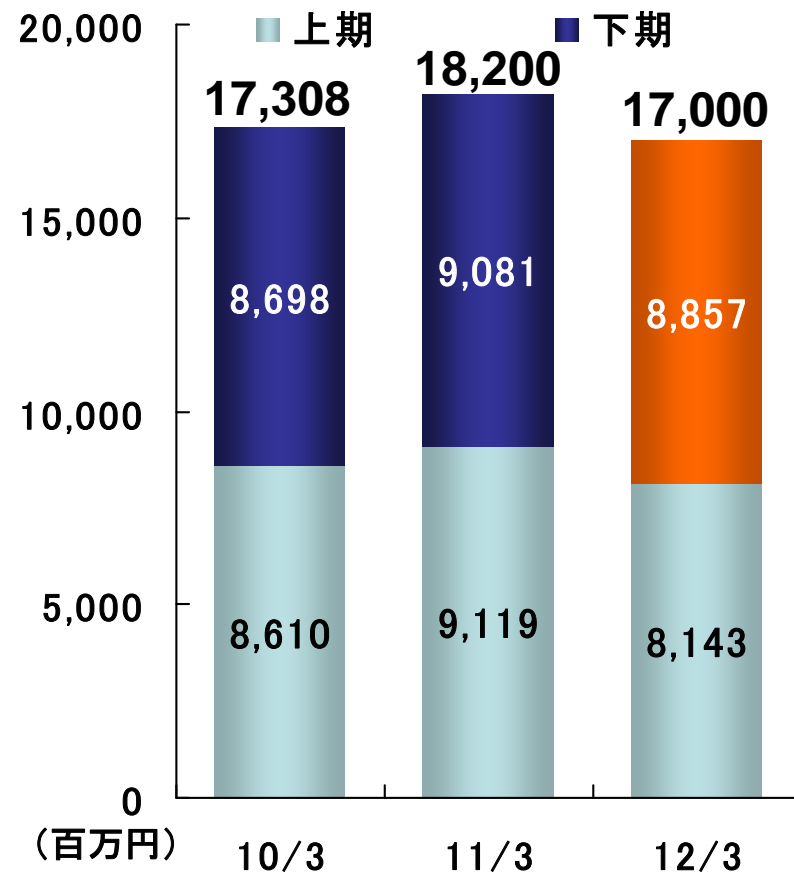
(百万円)

	11/3 実績	12/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	18,200	17,000	△1,200	△6.6
粗利益	4,583	4,550	△33	△0.7
粗利益率(%)	25.2	26.8	1.6	—
販売費及び一般管理費	3,760	3,870	109	2.9
販管费率(%)	20.7	22.8	2.1	—
営業利益	823	680	△143	△17.4
営業利益率(%)	4.5	4.0	△0.5	—
経常利益	918	700	△218	△23.8
経常利益率(%)	5.0	4.1	△0.9	—
当期純利益	419	390	△29	△7.0
当期純利益率(%)	2.3	2.3	△0.0	—

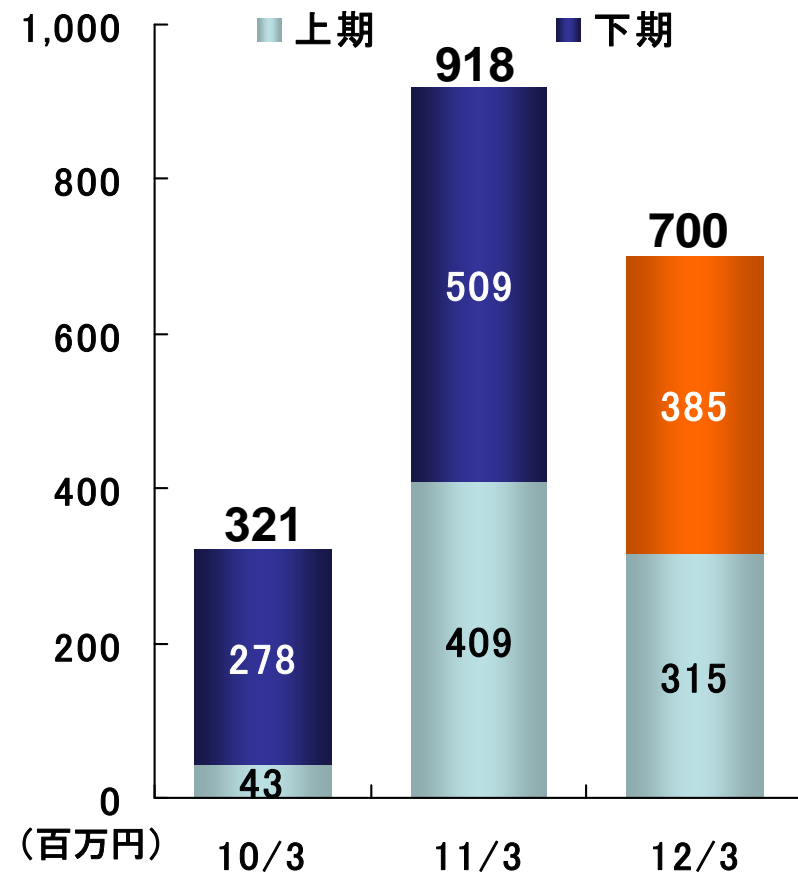
★ 下期の業績計画

下期は売上・利益共に今上期を上回る見通し

売上高



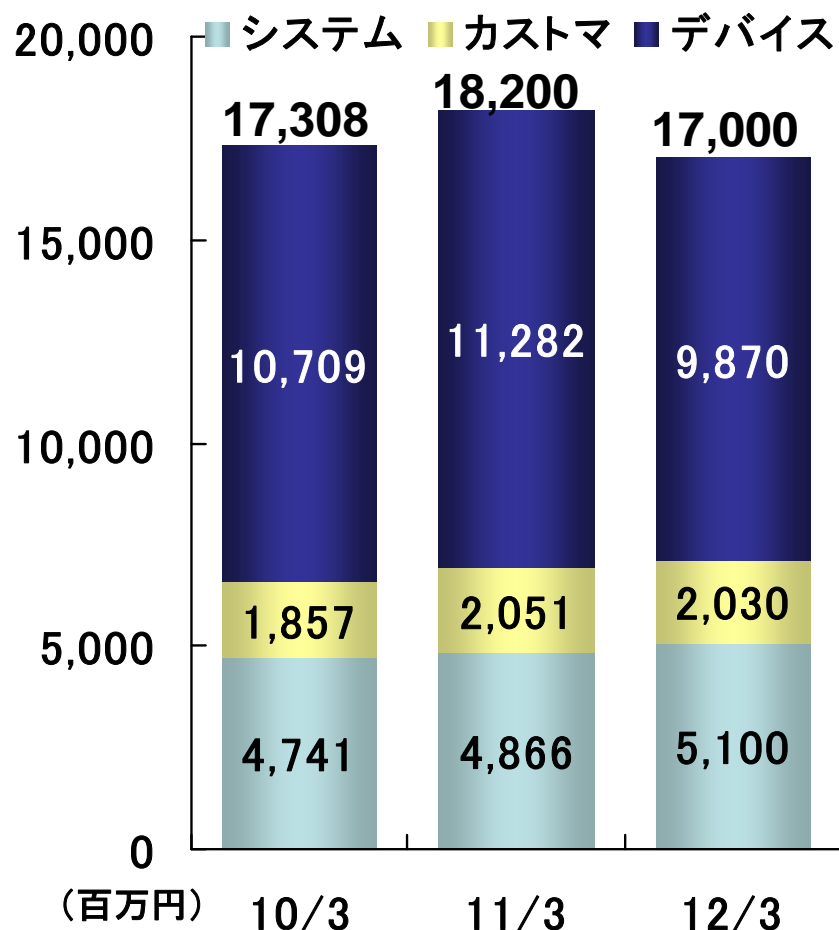
経常利益



★ 2011年3月期 セグメント別販売計画

デバイス減収も、システムは前年実績を上回る計画

売上高



定性情報

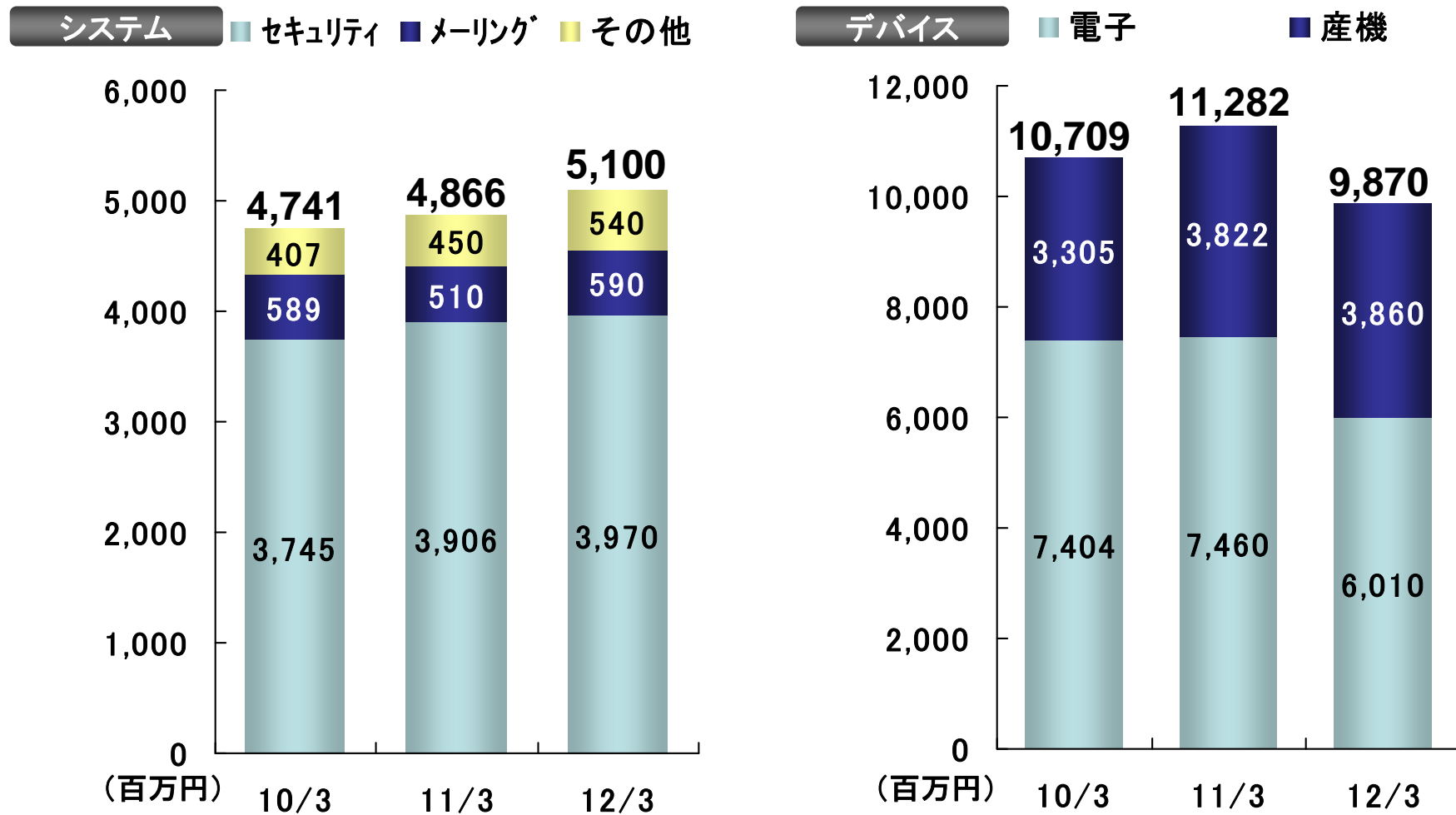
- ◆ デバイスの主力である電子商品類の減収要因が大きく、全体でも減収
- ◆ システムは、上期の好調及び新商品の投入などにより増収計画

(百万円)

	11/3	12/3	前期比
売上高	18,200	17,000	△6.6%
営業利益	823	680	△17.4%
経常利益	918	700	△23.8%
当期純利益	419	390	△7.0%

★ セグメント別販売計画の詳細

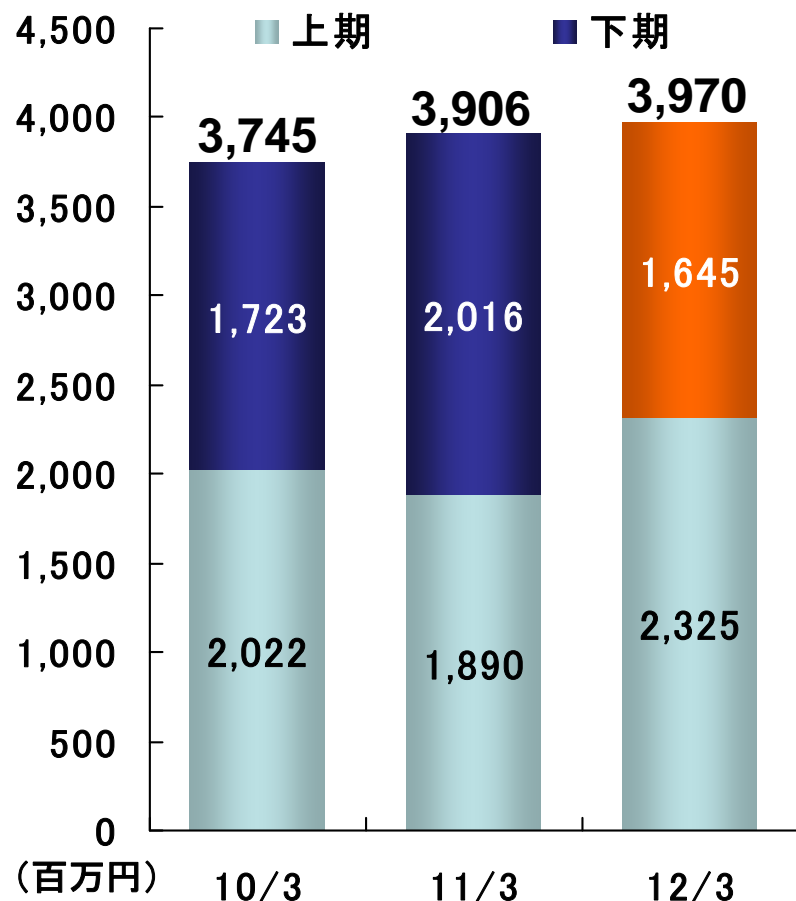
電子商品類を除き、全商品類で増収計画



★ セキュリティプロダクト販売計画

上期好調を持続し、下期計画を上回る実績を目指す

売上高



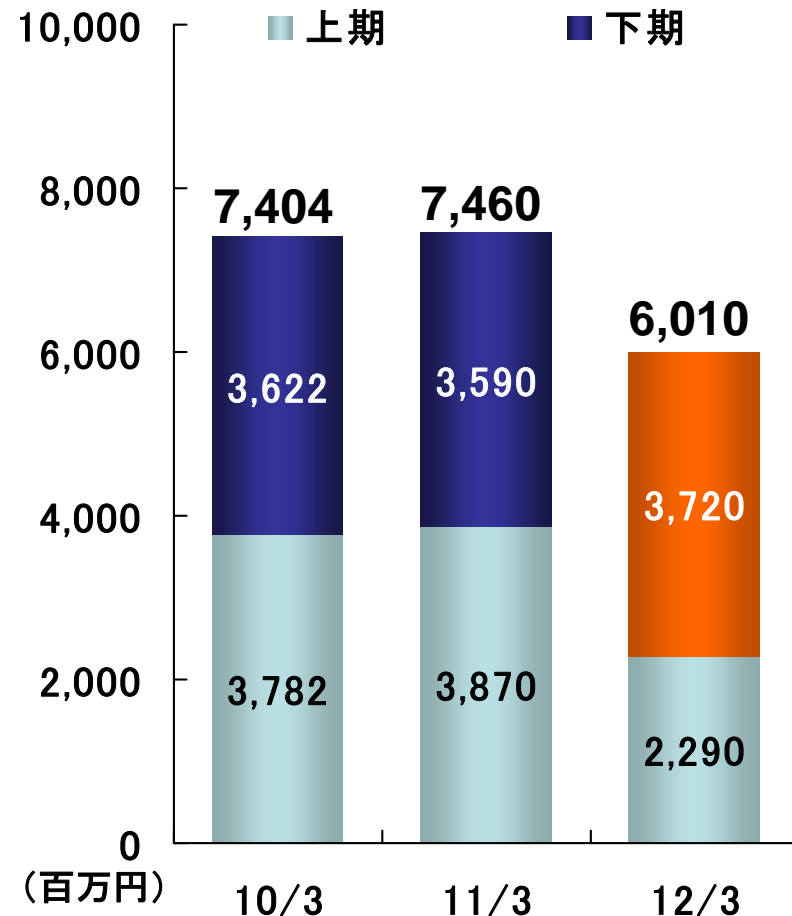
主な施策

- ◆ 上期実績化した食品スーパー市場の横展開を推進
- ◆ GMS市場の未導入店を更なる開拓
- ◆ ドラッグストア市場において、競合リプレイスの実現と、ソースタギング実現へ向け活動を加速
- ◆ 新商品の投入により、既存市場のシェア拡大
- ◆ アジア(中国・東南アジア)市場でのEASビジネスの拡大

★ 電子プロダクトの販売計画

上期の遅れを挽回すべく、新商品の販売を早期立上げ

売上高

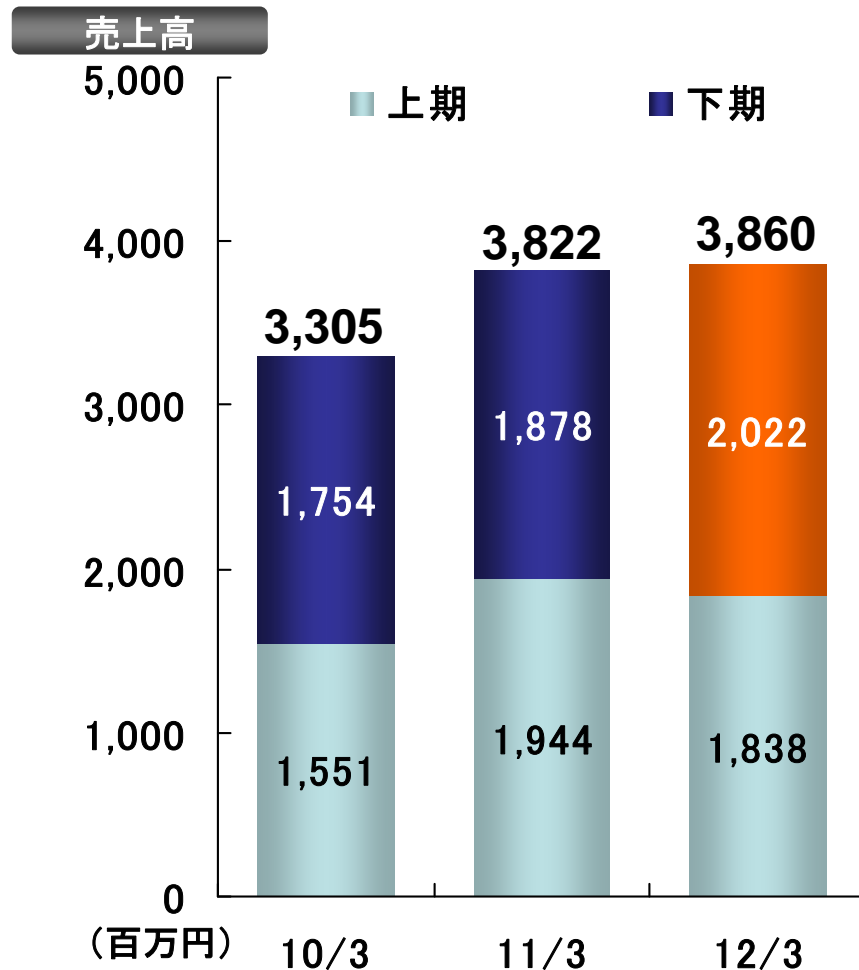


主な施策

- ◆ 新サプライヤー商品の早期販売立上げを推進
- ◆ アナログ/パワー、MEMSセンサー、通信系に特化したビジネスを再構築
- ◆ 当社の専門性が活かせる、新たなサプライヤーの獲得
- ◆ 重点市場の産業機器市場への販売活動を更に強化
- ◆ グローバル案件の獲得により、海外ビジネスを拡大

★ 産機プロダクトの販売計画

新市場の開拓を積極的に推進



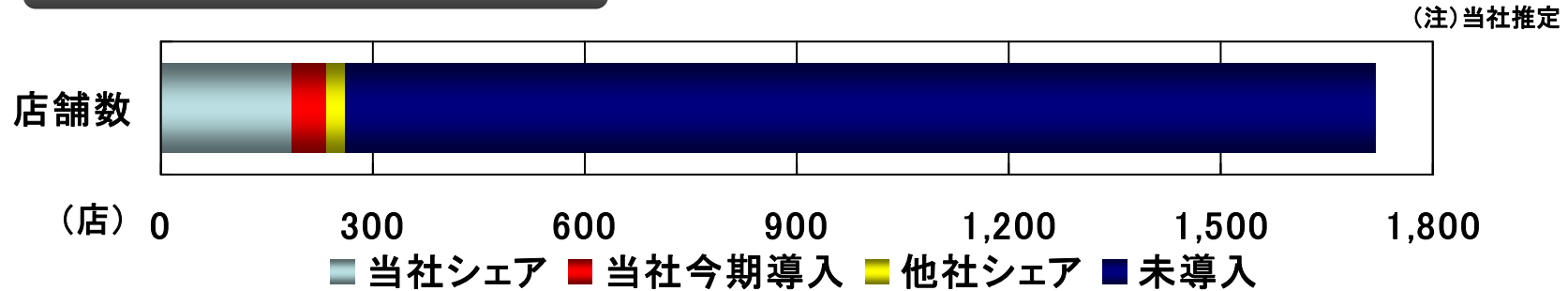
主な施策

- ◆ 震災の影響により後ろ倒しとなった案件の確実な取り込み
- ◆ 好調の遊技向け機構部品の横展開の推進
- ◆ 駅のホームドア向けや、鉄道車両向け機構部品の販売を強化し、第6のSBUへ育成
- ◆ 国内No.1の実績を誇るATM向け機構部品の、海外メーカーへ販売加速
- ◆ グローバル展開を見据えた海外サプライヤーの開拓・育成

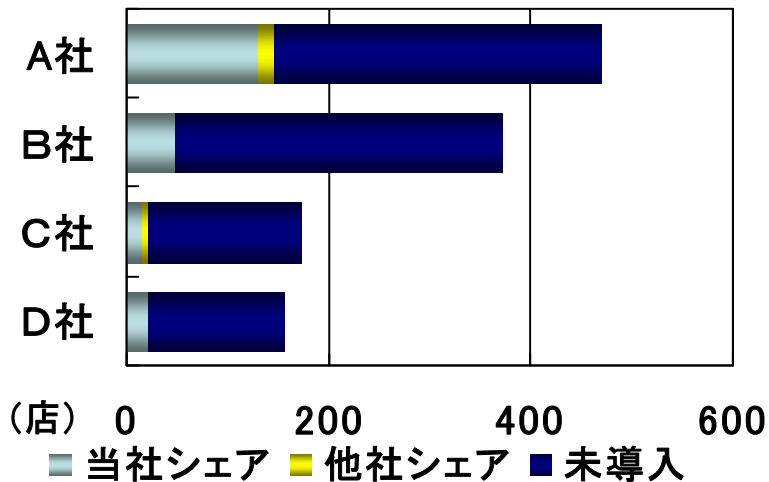
★トピックス①～GMS市場のシェア拡大～

GMS市場のトップシェア確立、未導入店へ拡販を推進

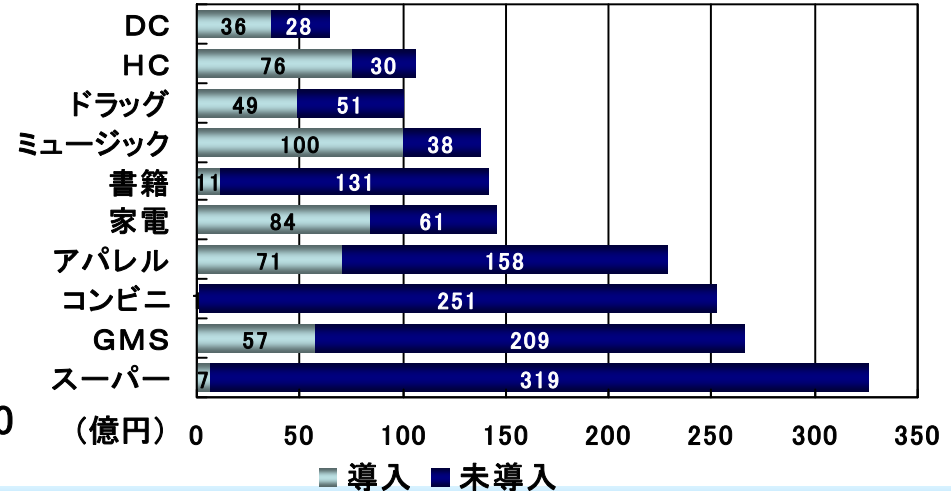
GMS市場EAS普及状況



大手GMS各社EAS普及状況



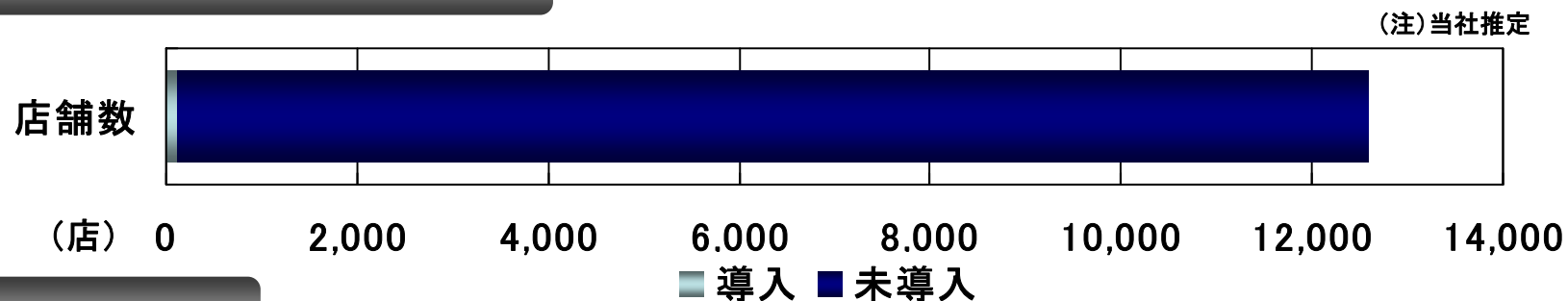
EAS市場規模



★トピックス②～食品スーパー市場を開拓～

未導入市場で費用対効果を実証、今後の普及に期待

食品スーパー市場EAS普及状況



EAS導入の難点

低価格商品が多く、タグ付けをすると費用が嵩むなど、費用対効果が合わない

ノウハウ

トライアル

万引き被害の50%を削減、費用対効果を実証



★ タイの現地法人買収について

東南アジア地区ビジネス拡大への第一歩

買収の目的

- ✓ 当社の成長戦略の一つである「グローバルビジネスの本格展開」の一環
- ✓ 日本で当社が培ったセキュリティビジネスのノウハウを活かし事業拡大を図る
- ✓ 東南アジア地区でのビジネス展開の橋頭堡とする etc

買収の概要

買収日: 2011年5月20日<5月23日より新体制にて発足>
事業内容: 商品監視システム、オフィスセキュリティシステム
防災用機器の輸入・販売等
売上高: 約12億円、純利益約40百万円<2010年9月期>



★ 海外展開について

グローバル展開を本格的に推し進める

- ① 中国・東南アジア地区でのセキュリティビジネスの展開
- ② 中国や欧米メーカーへのスライドレールの拡販
- ③ 電子商品類の移管ビジネスに加え、現地ビジネスの確立

★ 2012年3月期経営方針

基本方針

強固な収益基盤の実現と成長戦略の確実な実行
～独自の付加価値創出とグローバルビジネスの本格展開～

- ① 既存事業の競争力強化による収益の拡大
- ② 新規創出による事業成長サイクルの確立
- ③ グローバルビジネスの展開

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。